

HSK NPO 法人「文福」ニュース ❀❀❀❀

「障」ちゃん

❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀❀ NO.216

冒頭の一言

(6)

五月になりました。ついさっきまで花見がどうか、四月馬鹿がどうなどと言っていたのですが、もはや 25 度を超える夏日も多くなってきます。五月晴れの爽やかな日が多くなるのは良いのですが、、五月といえば黄金週間、大金を使って遠出の旅を強要されたり、高い買い物をしなければならないように思われがちですが、皆さんマイペースでいつもより多めの休日を楽しんでください。

ところで、私の家の裏手や、私が住むために作った玄関先の木のスロープの板の間から、何やら緑色の葉っぱが出てきました。スロープを作るために花壇を撤去したのですが、取り残されたチューリップが芽を出したのです。コンクリートやアスファルトの割れ目からという訳ではありませんが、プチど根性チューリップといった感じです。皆さんも町中やいろんなところで面白いものと出会ったり、探してみてもどうでしょうか。

—もくじ—

冒頭の一言… 1	学習会報告 … 2-4	初めての文福食堂当番 中村薫 …5
障害者の私と 八木勝自 … 6	文福の事務員 能登泰子 … 7	
Penko … 8-9	ザカイジョ… 10-11	運営会議報告 …12
今後の予定 … 13	ありがとう+編集後記 … 14	

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
〒100-0001 東京都千代田区千代田三丁目三番三十一号

学習会報告 (日下さん)

去る、3月24日、今年度最後の学習会を行いました。この日は年度末で皆さん忙しくて夜まではということがあったのかも知れませんが、集まりが少なく、リクエストされた方も来られなくて残念でした。

日下) 身体弱いと紹介されたけど、気持も弱いのでみなさんよろしくお願ひします。

どこで生まれたかというと、富山市の隣の小杉の太閤山。正確には 9 人兄弟の末っ子。私が生まれた時には 2 人逝ったので実質的には 7 番目の末っ子。10 歳くらいまでどこにも行かず、家の中や畑の中をはいずりまわっていました。初めに家から出たのが、高志学園という施設で、入った時は小学校の 5 年だったけど、入れたのは 3 年の教室でし。1 学期終って 2 学期入ってから 1, 2 日で隣の教室に行けと言われて 4 年にさせられました。それからは、学年、年齢が 1 年遅れです。別に頭が良かったわけでも、わいろを使ったわけでもありません。それで、1 年半ほど高志学園にいて、後は 19 の春まで富山養護学校に入っていました。

それから 1 年間、障害者の国立の職業訓練校にいました。本当に運がよくそこの職業訓練校から高岡に就職しました。何をやってたかは聞かないで下さい。でも、1 年間続きませんでした。この頃から 1 年間昼夜逆転の生活が続きました。しばらく、売れもしない絵を描いてました。

そんなことをやっている間に、ある時、養護学校の先輩の、今は CIL 富山の代表やっている平井お兄様から在宅訪問されました。ちょっと遊びに出て来ないかと悪魔のささやきについ乗せられてしまいました。障害者が集まるお茶飲み会でした。

そのうちに、そのお茶飲み会が過激派の巣窟になりました。川崎で、銭湯が障害者を差別していると言ってわざわざ川崎まで銭湯闘争に行ったり、隣の県

に殴り込みに行くような過激な組織になりました。私も戦闘員にさせられてしまいました。戦闘員になるには親と一緒に暮らしてそんな生活してては好き勝手なことはできないから、さっさと親家から出ろというお達しと誘惑もあり、気が弱かったのと、昔からそういうことをやってみたいという欲望もあったことから、ついつい親家を出て生活しました。

親家を出る、1人暮らしをするにあたってはそれまでは杖を突いて三本足で歩いていたのですが、そんな状態だと1人暮らしなどできないので、この際4つぐるまと足を使って動く事に決めました。どうやって生活していたかっというと、その頃は自分の生活のために介護者やヘルパーをつけた生活は一切してなかったので、仕方なしに1人で買い物しまくって、必要最低限自分でできることやっていました。

全障連という全国的な過激派組織に遊びに行かないかと誘われて最初に参加したのは第二回大会で明治大学のキャンパスで富山の人がない分科会に入りました。なんで入ったかというと制服姿のお姉ちゃんがいたのでこれは横にちかづけたらうれしかなとスケベ根性でした。チラシが来てもう1つの過激派組織の青い芝というその青い芝の東北合同キャンプがあるのをみていたら、そのお姉ちゃんが私秋田なんですって言って是非来てくださいと言われて、よし行ってあげようというボランティア精神がわいてきて秋田まで行きました。その行った先の秋田の白石さんという「なまはげ」のようなお兄さんに見せられまして、ついつい過激派に入ってしまったわけです。

一人暮らしの準備として車イスを申請して手に入れてから1週間もしないうちにその車イスを当時は1979年文部省今で言えば文部科学省が養護学校を義務化したのです。その前の年です。過激派みんな集まって反対闘争したのです。その時は青い芝単独の抗議行動でした。手に入れたばかりの車椅子を回りの人から乗せられてぶつけろって言われて文部省の鉄柵のぶつけてかち壊しました。

私が一人暮らししてから三年くらい経った頃に東京に年末に行つて年越ししてから正月の元旦か 2 日に富山に帰って来たのですが、大雪で自分の家に入れなかったんです。

それからもう他の所に泊まっていたのですが、結局、入れたのが 2 月の半ばに家の中に入れたんです。入った途端に大家から電話があつて「そこ住んでいる所人に売ったから 3 月で出てって」と「じゃあ出てっても良いけど移る先を探してくれ」と言ったら「あんた勝手にみつけて」って結局、引っ越しができたのは 7 月だったので。やっと引越し先見つけてその事を報告しに行ったら、案の定大家が出て来て般若のような顔で出て来ました。「引越し決まりました 7 月には引っ越します」と言ったら、まるで天女のような顔になりました。人間これだけかわるとビックリしました。10 年くらいは 3 年毎に引っ越すという二回か三回引っ越し繰り返しました。

それから去年の 11 月まで住んでいた所が 22 年間住んでましたが、その家はめっちゃめっちゃ夏は暑くって冬は涼しいという冷暖房完備の部屋でそれさえなければ結構いい部屋だったんですけど、どうも健康を害した理由の原因だったかなと今思えば思い当たってます。

引っ越しは良いとして、当時はどんな生活だったか大体一ヶ月のパターンがどうかっていうと短い時で 1 月の三分の一富山にいませんでした。一人暮らしで行動しやすい事からちょっと長いと半月富山にいませんでした。どこに行つてたかという、パターンが関東に東京とか埼玉神奈川とか過激派の集まりです。

これからは質問があれば答えれる範囲で答えます。

*****質問コーナー*****

日下さんの話で、最近出た「まっち」の中に、日下さんが書かれた原稿の中に「妖怪砂かあけばばあ」の質問が出されました。

最近入院された時の主治医の怖いお話です。興味のある方は、事務所にありま

すので、読んでください。

日下) 最初に障害者の当事者運動をテレビで知ったのが、いくつやったか。川崎のバス闘争があった。中学校の頃だったと思う。その後かな。養護学校の教師が障害児を殺した母親に刑を重くしろと言っているとんでもない障害者の団体があるらしいと二人で話していた。私は後から言っている事は確かにごもっともだと思った。障害児を殺した母親に減刑嘆願が盛り上がって、障害者がそれに反対したのです。

中) ニュースで見えていた、私達に先生たちは、「可愛い障害者になれ」としきりに言われた。川崎のバス闘争の後、金沢でもあった時もすごく言われた。

久) 私にはビートルズのとか、浅間山荘の話とかしか記録にない。話でした。

日下) バスが止まったのは車いす障害者が乗ったからではありません。運転手が職場放棄したのです。

杉) 印象的には、日下さんだけって言う事もないけど障害者の人たちの記憶力っていかものかどこにあるかとかもそうだろうし事件があったとか、記憶力があるっていうのは誰しにも思う。日下さんだけで言えば、男でこれだけ細かい人がいるかって思う。

最後は、11月に引っ越した家の日当たり事で話が盛り上がりました。

日下さんありがとうございました。むかし、懐かしい話が沢山出て来て、若い人たちにも聞いて欲しかったと思っています。

新しい年度が始まってから、また行いたいと考えていますので、リクエストがあれば言ってください。お待ちしております。

河上〈アパッチ〉

※文章の中の「過激派」というのは当時そう言われていたことだととって下さい。

編集部より。

初めての『文福食堂』当番

中村 薫

3月28日に私は初めて『文福食堂』の当番が当たりました。当たったというか、正確にいうと自分から「やります！」と言ったのです。(^^ゞ

富山に越してきて4ヶ月が過ぎ、ほんの少しですが、生活にも慣れてきて、文福障害者スタッフとして、私も何かしたいという気持ちが出てきたのがあって、自ら『文福食堂』の当番をやらせてもらいました。

初めて他人様の食事を考える、しかも20人前という私にとって未知数の人数分の料理、ヘルパーさんとの買い出しにも一苦勞でした。

もちろんクックパッドにお世話になりました。

私が作ったのは、《めんつゆで肉じゃが》と《キャベツと卵のごまだれサラダ》と《大根と揚の味噌汁》です。

張り切り過ぎたのか、私の計算間違いなのか、大幅に残ってしまいましたし、食材の予算もかなりオーバーしてしまいました。

「ごめんなさい。」の気持ちでいっぱいでした。m()m

でも、「美味しかったよ。」と言ってくれる人も何人かいて嬉しかったです。

私、自分の食事は適当に我流がほとんどなので、勉強になりとても良かったと思っています。でもまあやっても月1回が精一杯ですがね。

手伝って下さった文福の方々、ありがとうございました。

「美味しかった！」言って下さった皆さん、ありがとうございました。

また私の当番が回ってきた際には、お付き合い下さいませな。!(^^)!

2017年4月3日 記



「障害者の私と匿名の私とどこがどう違うのか（腹が立つ）」

八木勝白

偶然私は匿名で文章を書いたり、色々な計画案を練ったり去年の 4 月で長年受けてきた生活保護を辞めて経済活動もしていて、それが人々や社会から高く評価されたり、うまくいったりしています。

ところが私が身体障害者の 1 級でかなり重度な障害者だとわかると人々は離れていったり、評価もガクッと下がってしまうのです。これは一体どういうことだろうと思ってしまいます。

私が重度の身体障害者でおまけに十数年前から人の声が聞き取れないという聴覚障害者になってしまってそれが私とかかかわると面倒で何が起こるかわからないとかそんな重度障害者が誰か影で操ったりゴーストライターでもいるのかと思ってしまうのでしょうか。

私は確かに重度の身の回りのことが出来ない障害者ですが、自分で出来る範囲は自分でやったり、あとは 1 日 16 時間は介護がついているので普通の生活形式や社会形式の生活が出来ているので、人にそんなに迷惑をかけるようなことはないと思うのですが。そして一昔前なら重度障害者がある程度のことや普通のことをやれば高く評価されました。つまり、今の社会はより優生思想的な社会になったり、少し目障りや何か問題を起こしそうな人は排除する世界となってきたのでしょうか。そうだとすれば、全く個人的に腹が立ちます。そしてそのことを私の大先輩で尊敬している富山市身体障害者協会の事務局長の大西さんに話したところ、「軽度の身体障害者が当たり前のことを出来たり、人より少し出来る様になっても『もっとやれ、もっとやれ』と言われてしまう傾向でそれが昔より強くなっている」と言われて大西さんの言われる意味と、若干重度障害者と軽度障害者の思いは違うところはあると思いますが、優生思想の社会が強化されているのだなと思ってしまいました。

個人的にも匿名と身体障害者の私と一体どこが違うのか全く腹が立ってしまします。

文福の事務員の能登と申します。

能登泰子

友人の紹介で文福に入社したのは平成 27 年の 2 月でした。
お昼休みの時間に富山大学のコンビニにお昼ご飯をよく買いにいきます。
春は桜、秋には銀杏が楽しめるのが嬉しいですね。

富山大学の桜は染井吉野ですが、染井吉野は園芸種でサクランボは出来ないそうです。子孫を残せないというのは生物として悲しいことではないかと思いますが、意外と染井吉野自身は何とも思っていないのかもしれませんがね。

今年は桜が少し遅かったですね。文福で桜を愛でるのは今年で 3 回目です。
文福に入社して 2 年 3 ヶ月が経ちましたが、気が付けばヘルパーさんの半分がもう入れ替わっているのですね。大学の学生さんが多いからでしょうか。

「一期一会」と言う人は、もう年寄りなのだそうですが、人生の折り返し地点を過ぎたからか、人との出会いが貴重に思えるようになりました。
川の流れは絶えずして・・・との古の人の言葉を思い浮かべながら、一つ一つの出会いを大切にしていきたいです。



Penko のおひとりさま
珍道中!! (part 27)
7.3)

実家のこと

私の実家は農家でお米を作っています。毎月お米を分けてもらっています。

実家の裏は田んぼがあり、ここ最近母親と家の周りや近くの神社などを車いすで散歩しています。田んぼの周りには高い木や建物もなく、空がとても広く見えて驚きました。念願だったお墓参りにも行けました。またさらに田んぼ道の奥へ行くと、コンビニや「ドン・キホーテ」ファミレスの「Joyful」があります。

昔はパチンコ屋さんがあって、夜はパチンコ屋さんの明かりを頼りに眠りました。

実家の中では、玄関で車いすを降りて過ごします。自分の部屋は西側にあり眺めがよいです。高校生になる頃に自分の部屋を作ってもらいました。それまでは妹と二段ベッドで寝ていました。部屋の窓からは陽が沈むのを間近で見ることが出来ます。陽が沈むのを見ながらたそがれています。

朝はスズメが鳴き、夜は季節ごとに違う虫の鳴き声が聞こえます。

特に毎年ゴールデンウィークになると、実家で過ごすようにしています。田植えの前後に田んぼにたくさんのカエルが現れて夜が更

けると大合唱!?!を奏でてくれます。その大合唱を聞きたいがために
実家に帰ります。本当は毎日ずっと聞きたいのですが…

毎年カエルの大合唱に癒されながら、気持ちよく眠りに落ちていくのであります。



富山県指定「重度訪問介護従業者養成研修」

2017 年度第 1 回 『ザ☆カイジョ』 ご案内

【基礎コース】日 時：6 月 24 日(土)9:00～17:30 25 日(日)9:00～17:00
受講料：2,500 円 場所：サンシップとやま・富山県民会館

館

【追加コース】日 時：7 月 2 日(土)9:00～18:00
受講料：1,500 円 場所：サンシップとやま

【締め切り】 6 月 12 日(月)必着 定員 15 名に達し次第締切ります。

※詳しくは次号やHPに掲載します。申込書は次頁に。切り取りご利用下さい。

「ザ☆カイジョ」は、国のヘルパー制度のサービスの 1 つである「重度訪問介護」の資格を、基礎コース 10 時間、追加コース 10 時間の受講で取得できる研修です。『障害当事者から学ぶ』『現場から学ぶ』を特色としていて、この資格で障害者の日常生活や外出・社会参加を支えるヘルパーができます。

この研修には大きく 2 つの流れがあり、1 つは、昔、障害者が講師を勤めた大学の「人権と福祉」の授業で、関心があってもなかなかつきあうきっかけが少なく、どうつきあったらよいかわからないという声が多かったので、まずは出会うこと、関わり、一緒に話したり外出したりする体験の場が必要だと考え企画した介助研修、ボランティア研修の流れです。もう一つは、重度訪問介護のヘルパーとして仕事とする人を障害者自身が養成して、地域生活の要である介助保障を実現していくための研修です。障害のある人と一緒に話したり行動する中で、高齢者の介護保険とはまた違った自立を学べる研修です。

昨年は「相模原障害者殺傷事件」があり、社会には閉塞感が強まっていますが、人の安全・安心は、管理や隔離の強化からではなく、人と人との間でいろいろな経験を共有していくことによってはぐくまれて行くものだと思います。

つき合ったことはないけれど関わってみたい方、障害者のヘルパーという仕事に興味のある方、福祉に関わる仕事をしているが当事者の考えを聞いてみたい方、どなたでも歓迎です。

重度訪問介護とは？

地域生活をする、外出をして社会参加をする、常時介助を必要とする障害者に対して、身体介助・外出時の介助・待機（見守り）などを総合的に行う厚労省障害福祉サービスです。障害者の意思・ペースを重視し、介助者の助けを受け障害者の自己決定・自己選択・自己責任を基本とし、障害者が自分自身を育てていくものです。

重度訪問介護
従業者養成研
修

障害当事者から学ぶ・現場から学ぶ

2017.第1回ザ★カイジヨ

参加申込書

ふりがな	
氏名	
生年月日	年 月 日 (才)
性別	男 ・ 女
住所	〒 _____
連絡先	自宅 TEL () — 自宅 FAX () — 携帯 TEL — — E-mail @ 緊急連絡先 名 前 電話番号
受講コース	全コース ・ 基礎コース ・ 追加コース
介護経験	ある ・ ない (いずれかに○) あると答えた方は記入して下さい。 いつごろ どのくらい どんな

※申込締切は 6 月 12 日(月)です。

文福運営会議

2017.3

報告事項

●各部からの報告

【学習会】3/24 学習会「障害者はどう生きてきたか part3」は日下さんです。

【障害者部会】来年度の目標として、公共交通機関に向けて問題点をアンケート調査し、それを元に交渉につなげていく。

【派遣】なし

【レクレーション】4 月 8 日にお花見のイベントをやる予定。サンシップに集合の後十六夜にて飲み会をする予定。

【障ちゃんニュース】28 日発送予定。

【まっち】次回テーマが「私にとっての癒し」。4 月末に締め切りと言っていたが、遅くとも夏頃に印刷できれば。

【相模原殺傷事件のシンポジウム】3 月 18 日に開催され、参加してきた。

【その他】車の管理について

タイヤ交換を 27 日をお願いする。天気によっては 4 月 7 日に変更。

デミオは廃車手続きは完了した。

ホームページについて

4 月中旬頃に更新予定。更新の原稿を用意しておく。

●次回の運営会議は 4 月 18 日(火)です。

報告 吉田健太



◆今後の予定◆

このコーナーでは、文福と他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願ひします。

◎ アースデイ とやま2017

里山が生きる、人が生きる

日 時 5月21日<日>9:00~16:00

場 所 富山市ファミリーパーク

主 催 アースデイ2017富山実行委員会

問い合わせ;実行委員会事務局 TEL 076-493-6261

◎ 文福第15回総会のご案内

日 時 6月11日<日>10:00~

場 所 サンシップとやま 701号室

午後からの講師プロフィール紹介

渡邊 琢(わたなべ・たく)氏 京都在住

介護コーディネーター

日本自立生活センター事務局員、NPO法人日本自立生活センター自立支援事業所 介護コーディネーター、ピープルファースト京都支援者。著書に『介助者たちは、どう生きていくのか—障害者の地域自立生活と介助という営み』（生活書院）など。



ありがとう & 編集後記コーナー

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお願いします。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

もう5月になります。ゴールデンウィークがあり、若葉の季節ですね。さて、文福は6月に総会があり、月末には、ザ★カイジョがあるので、それに向けて準備をしていかないと間に合いません。一年で一番忙しい月とも言えるでしょう

* 物品提供 *

栗島 実さま 大橋 佐知子さま 加賀 茂美さま 居石 真理さま 杉本 実さま
瀬戸 紀美子さま 林 衛さま

★☆☆☆☆☆ (アパッチ)

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
工 申 四 二 一 回 (ハ、ニ、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十) 発行

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

ぶんぷく

編集人：特定非営利活動法人 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3
e-mail: bunpuku@arrow.ocn.ne.jp
HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 4 4 1 - 6 1 0 6

定 価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。